

1 大学の教育研究上の目的に関すること

1-1 大学の目的

秋田公立美術大学は、広く知識を授け、深く専門の芸術を教授研究することによって、豊かな創造性とグローバルな視野を持った人材を育成すると共に、芸術文化の発展と地域社会に貢献することを目的とする。

(秋田公立美術大学学則 第1節 第1条)

1-2 基本理念

秋田公立美術大学においては、従来の大学のように学問自体の研究・発展だけを目的とするのではなく、公立大学として秋田市の芸術・文化をいかしたまちづくりの中核の役割を担うため、大学の中だけで完結するのではなく、地方都市である秋田を構成する一部分に自らを位置付け、秋田の芸術・文化の探求・創造も併せて指向する。同時に、美術・工芸・デザインを単なる芸術鑑賞の対象としてのみ扱うのではなく、広く社会に貢献できる一つの手段として捉え、住みやすく人にやさしいまちづくりや新たな商品開発といった分野への支援機能も備えることが必要である。

このことから、秋田公立美術大学の基本理念を以下の4点とする。

(1) 新しい芸術領域を創造し、挑戦する大学

近代日本の芸術教育において、近代日本の芸術教育において、「日本画」「油画」「彫刻」「工芸」「デザイン」「建築」等の区分が固定され、西洋近代的なものと同居している状態を見直し、現代日本に合った価値観に再構成するとともに、新しい芸術的価値を生み出し、発信することに積極的に挑戦する。

(2) 秋田の伝統・文化をいかし発展させる大学

「地方都市のアイデンティティを再発見し、新たな価値観を創出する」というビジョンと、「地域の多元化そして深化こそ豊かなグローバル文化を形成する」という理念に基づき、地方主体の芸術創造、地方で創造された芸術の存在感の向上、文化芸術政策・活動の人材養成を実現することを通して、芸術の「地方分権」を魁ける。

また、秋田が歴史的に培ってきた伝統的な文化、生活様式、技術などを掘り起こし、その芸術的価値を再評価し、現代の秋田にいかすとともに、芸術・デザイン分野における新たな展開をもたらす、いわば地域のルネッサンスを目指す。

(3) 秋田から世界へ発信するグローバル人材を育成する大学

再構成された芸術領域と地域の芸術・文化に対する深い理解や、「世界」に触れる機会・交流を持つことを基盤として、変化しつづける芸術表現の中で、アーティストあるいはデザイナーとしてその潮流をリードするために必要な、多様なルーツと出会い、価値の多様性を認め、共有できる柔軟な思考を持ち、新しい表現を模索しながらグローバルに活躍できる人材を育てる。

また、大学自体も、豊かなグローバル文化の形成を目指して、秋田に残る文化・芸術を再評価し、現代に通じるものとして復興しながら、先鋭的な芸術表現により世界に向けて新たな価値観を発信していく。

(4) まちづくりに貢献し、地域社会とともに歩む大学

公立大学の責務として、教員全員が自らの専門領域に由来する社会貢献事業を進めるとともに、県内外の大学、民間企業、小・中・高の各学校、美術館等の社会教育機関との連携を積極的に図りながら、地域ブランドの開発や地場産業の振興、芸術活動の展開などに力を発揮し、地域の活性化に貢献できる人材を育てる。

(大学設置認可申請書「8 設置の趣旨」)

1-3 学部の目的

新しい芸術表現を模索し発信する人材、新しいデザイン技術を習得して地域の活性化に寄与する人材、地域の「良さ」や「美しさ」を再発見する眼を持つ人材、多様な価値を交換・共有できる人材、地域の芸術創造を実践する計画を立案できる人材の育成を目的とする。

(秋田公立美術大学学則 第3条3項)

1-4 大学院の目的

本学大学院は、多様化する現代芸術領域と複雑化する地域課題に対応しながら、複合的な教育・研究を通じて、一人ひとりの個性を尊重した専門性のさらなる深化を追求し、新たな芸術表現の創出やより本質を捉えた地域貢献を図るため、高度な実践力を有する人材と高度な専門性を有する研究・教育者の育成を行うことを目的とする。

(秋田公立美術大学大学院学則 第2条)

1-5 大学院の教育・研究理念

本学大学院は、学部における教育成果を基盤に、多様化する現代芸術領域と複雑化する地域課題に対応しながら、一人ひとりの個性を尊重した専門性のさらなる深化を追求し、新たな芸術表現の創出やより本質を捉えた地域貢献を図るため、次の基本理念を教育・研究理念に掲げ、高度な実践力を有する人材と高度な専門性を有する研究・教育者の育成を行う。

(1) 個人の特性と自由な選択を尊重し、地域を選ばず自らの切り口で芸術表現を探求し続けるアーティストを育成する。

多様化する現代芸術領域を深く理解し、地域を選ばずグローバルな視点で、自らの個性を異なる分野と複合させながら芸術表現を実践し、新たな芸術領域への到達を探求し続けるアーティストを育成する。

(2) 実社会との関わりや幅広い知識・実践力を身につけた地域貢献の中核を担うアートマネジャー等を育成する。

地域課題の要因や背景を注意深く紐解き、芸術表現として最適な方法を提案・実行することで、地域貢献を具体的な成果として生み出すことができる、創造力と実践力を兼ね備えたアートマネジャーを育成する。

また、ソーシャルデザインの視点から地域社会を捉え、既存のサービスや事業、製品に芸術的観点から社会的価値を生み出す可能性を見出し、地域金融機関やクラウドファンディング等と連携しながら、社会的起業を念頭にした企画立案や事業創出等を行える芸術系社会デザイナーを育成する。

(3) 現代芸術領域の研究成果を地域に還元し、世界に発信する研究者を育成する。

現代芸術における新領域の創造を掲げる公立大学として、芸術活動の成果を検証し、社会的価値を生み出す活動を研究・蓄積することで、多様化する現代芸術の学術的研究を可能とするシンクタンクとして、現代アーティストや現代芸術界に有意な提言を行うと同時に、地域課題への効果的な芸術表現活動のあり方を還元し、その成果を広く発信する。

(大学院設置認可申請書「I-3 教育・研究理念」)

1-6 研究科の目的

研究科は、現代芸術領域と地域における課題を対象とする教育・研究を通じて、テクノロジー等を活用した複合的芸術表現の探求、アート・マネジメントの手法を用いた課題解決、ソーシャル・デザインによる雇用の創出・まちづくり、さらには蓄積された現代芸術領域に関する研究成果の発信など、自らの表現能力を探求し続けながら、現代芸術における新領域の創造と、地域を深く捉えた課題の発見から課題解決手法の提案・実践を通じて社会に貢献する人材を育成することを目的とする。

(秋田公立美術大学大学院学則 第4条3項)